

教員氏名：細井 洋伸（教育学科・英語教育専攻／教授）

1. 教育の責任（何をやっているか）

教育学科、英語教育専攻に所属し、今年度は教員免許取得で重要になる英語学の基礎を扱う「英語学概論Ⅰ・Ⅱ」や「英語Ⅰ（基礎）」、「基礎ゼミⅠ・Ⅱ」、「中等教育実習事前事後指導」を担当している。また、課題活動では、「英語サークル」の活動の指導をしており、特に「TOEIC」対策を担当している。

2. 教育の理念（なぜやっているか）

教育の理念として、主に以下の二つの力を学生に身につけてもらいたいと考えている。

第1点は、知識を主体的に活用する力である。知識は、ただ講義を聞いたり本を読んだりして受動的に受け入れるだけでは十分に身につかない。その知識を実際の課題や問題の解決に活用して初めて、真の理解が生まれ、自らのものとなる。

第2点は、課題発見・課題解決能力である。近年よく指摘されるように、これまでに経験したことのない問題に直面した際、自ら課題を見出し、その課題に対する解決策を主体的に考え、実行できる力を身につけることである。

3. 教育の方法（どのようにやっているか）

教育理念の第1点について：現在、専門科目として「英語学概論」を担当しているが、この授業においても、一方的に講義を行い、知識を与えるだけではなく、絶えず学生に問いかけ、ディスカッションを通して考える力を養うよう努めている。また、授業で扱った内容については、実際に課題に取り組ませることで、授業で学んだ知識を活用する機会を設け、その知識を確実に身につけられるよう工夫している。

教育理念の第2点について：現在のところゼミ形式の授業や、レポートを書かせるような授業を行っていないが、将来的にこのような授業で、学生に自ら研究課題を見つけさせ、それについて研究し、レポート、論文としてまとめるようにさせたいと考えている。

4. 教育の成果（行った結果どうだったか）

本学で教え始めた最初の学期なので、まだ行なった結果を述べる段階にはないが、これま

でのところ、授業のディスカッション、課題、クイズ等を通し、学生に知識を応用させる努力はしている。予想した通り、授業で講義しただけでは理解したように見える知識も、実際にそれを使ってみると、さまざまな点で理解不足が見つかった状況であり、その点をさらに説明を行なって理解させている状況である。

5. 教育における今後の目標（これからどうするのか）

今後も上述の教育理念のもと、現在行なっている教育方法を必要に応じてさらに改善しながら、自分が教えている英語学関係の知識に限らず、どのような知識についても、その知識を自ら実際に使ってみて学んでいく力、また解答のない、あるいは見えない問題について、自ら具体的な課題を設定し、それを解決していく力を学生につけさせるのが目標である。

（2026 年 6 月 29 日現在）